

「子どもの病気と対処方法について」 ホームケアと病院受診のタイミング伝える はやかわこどもクリニック



はやかわこどもクリニック（津市一身田上津部田、早川豪俊院長）は10日（土）、県総合文化センター地下1階リハーサル室で「おひさま広場」を開催した。医療講演会や相談会、お楽しみ会もあり、0歳から小学校低学年までの子ども連れの親子約200人が来場した。

医療講演会は、早川院長が「子どもの病気と対

処方法」について、子どもが病気、けがをした際のホームケアの方法を解説。熱、せき、鼻水、おう吐、下痢、打撲、火傷、虫さされなどの対処法をわかりやすく話した。

「引きつけを起こしたら慌てず横向きにして、吐いたものが気管に入らないように」「頭を打った時、何度も吐く、打った場所だけでなく頭全体を痛がる、意識がない、といった場合はすぐ病院へ」など、親が注意すべき観察点や家でできる対応を伝えた。

その後、院長や医院スタッフが個別に医療相談に応じた。子どもたちはくじ引きやヨーヨー釣り、ボールすくい、輪投げ、ボーリングなどを楽しんだ。

早川院長は「こういった交流会を通じて患者さんご家族の育児の悩みや病気の時の不安が少しでも軽減され、親子ともに健康的な生活が送れば」と話した。

問い合わせは同クリニック☎電話059（233）6600。